

## 令和 3 年度 施策評価表

施策	1602	観光受入体制の整備	施策担当部	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
			施策担当課	観光振興課	課長	上野 秀徳
施策の方針	自然や歴史を活かした観光地の魅力向上や、誘導サイン、説明版など観光基盤の整備に努める。また、情報発信やプロモーション活動の強化を図るとともに、観光推進体制の充実と人材育成に努める。					
関連するSDGsのゴール						

### 【DO（実施）】

#### 基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 市内主要観光施設の年間入場者数	万人	65	60 57	63 62	65 64	68 67	70 49	70.0%	70.0%
② 観光ボランティアガイドの会員数	人	25	30 28	31 26	32 26	33 23	35 23	65.7%	65.7%
③ 外国人宿泊者数（年間）	人	2,000	4,792 2,848	4,844 2,423	4,896 2,257	4,948 7,226	5,000 460	9.2%	9.2%
④									
⑤									

#### 施策達成状況の説明

主要観光施設（大村公園、野岳湖公園、琴平スカイパーク、裏見の滝自然花苑）の入場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける形で客足が伸び悩み、目標値を下回るとともに前年度比73.1%に止まった。

観光ボランティアガイド会員数は、前年度と同数で推移したが、昨今はライフスタイルが多様化していることから新規入会者の確保までにはならず、目標値を下回った。

外国人宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響に伴う長崎空港の国際便の減便または廃止による海外旅行者の減少により、目標値を大きく下回り、前年度比6.4%に止まるなど大きな打撃を受けた。

#### 施策経費

（単位：千円）		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	75,479	152,980	69,903	
	国庫支出金	82	175	432	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	66,700	0	
	その他	2,208	5,005	2,776	
	一般財源	73,189	81,100	66,695	
	人件費	20,658	23,100	-	
フルコスト	96,137	176,080	-		

#### 施策の概要

160201	観光地の魅力向上	大村公園をはじめとする自然豊かな観光地の魅力向上を図るため、「オオムラザクラ」や「クシマザクラ」、季節の花々などを植栽し、四季を通して楽しめる観光地づくりを目指します。また、玖島城跡や武家屋敷街、日本初のキリシタン大名「大村純忠」、天正遣欧少年使節など、各種の観光資源の効果的な活用を図るとともに、市民に親しまれる魅力ある観光地づくりを進めます。
160202	観光基盤の整備	市内を訪れる観光客が安心して快適に観光できるよう、誘導サインや地点サイン、説明板、トイレ、駐車場など計画的な基盤整備に努めます。特に、外国人観光客の受入体制の強化を図るため、4か国語表記の看板整備を進めます。
160203	情報発信・プロモーション活動の強化	国内外の観光客の誘客を図るため、ホームページやパンフレット、ガイドブックなど各種広報媒体を整備し、インバウンド対策として、多言語による情報発信やPRを強化します。また、ターゲットを明確にした、きめ細かで戦略的なプロモーション活動を強化します。
160204	観光推進体制の充実と人材育成	市民や観光関連団体、ホテルや飲食店等の事業者、行政など、官民一体となった観光地域づくりを推進します。また、観光客の受入体制の強化を図るため、接遇研修や語学研修、観光ボランティアガイドの養成など、観光人材の育成に努めます。

**【CHECK (評価) 施策担当部長】**

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市ならではの歴史、文化や自然などの観光資源に加え、日本遺産に認定されたシュガーロードや2022年の新幹線開業による新たな観光素材を活用した魅力ある取り組みを推進する必要がある。</li> <li>本市を訪れた観光客の安心で快適な観光を実現するため、主要観光地のWi-Fi環境整備のほか、大村公園のトイレの計画的な改修などハード面の整備が必要である。</li> <li>国内外の観光客の誘客を図るため、ホームページやSNS等を活用した分かりやすく特色のある情報発信、ガイドブック等の情報媒体の磨き上げが必要である。</li> <li>「withコロナ」、「afterコロナ」を見据え、観光関連団体等との連携をより一層深めるとともに、観光ボランティアの新規入会者を促進するなど観光人材を充実させる必要がある。</li> </ul>
-------------------------	---

**【ACTION (改善・改革)】**

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に設置している観光案内掲示板は老朽化や情報の齟齬が進んでいるため、計画的なリニューアルを行う。</li> <li>コロナ禍においてマイクロツーリズム（近場観光）が注目されるなど、旅のスタイルが変化していることから、地元観光素材を再認識し、国内旅行者や特に県内旅行者をターゲットに情報発信を強化する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症収束後の交流人口の増加を見据え、ワーケーションを活用する上で必要となる受け皿づくりのほか、インバウンドへの対応を含めた観光ボランティアの新規入会者を促進するなど、国内外からの観光客受入体制を構築する。</li> </ul>
---	---

**令和4年度新規事業**

	事業名 (仮称)	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	